

塾人社 四択問題【地理 世界と日本の気候 3】

設問 1	温暖湿潤気候(おんだんしつじゅんきこう)の特色としておかしいのはどれ。	
選択肢	1	季節風(モンスーン)が発達する
選択肢	2	夏は熱帯のようになる
選択肢	3	冬は寒さが厳しい
選択肢	4	降水量が少ない
正解		
解説		

設問 2	夏と冬の温度差が大きい大陸性気候で、南半球にはない気候と言えば。	
選択肢	1	西岸海洋性気候
選択肢	2	寒帯
選択肢	3	高山帯
選択肢	4	冷帯
正解		
解説		

設問 3	熱帯に存在する常緑広葉樹の密林を何と言う。	
選択肢	1	熱帯雨林
選択肢	2	サバナ
選択肢	3	タイガ
選択肢	4	シゲシゲ
正解		
解説		

設問 4		長い草とまばらな樹木の草原であるサバナは、何帯にあるか。
選択肢	1	わからんたい
選択肢	2	熱帯
選択肢	3	冷帯
選択肢	4	寒帯
正解		
解説		

設問 5		タイガと呼ばれる針葉樹(しんようじゅ)の大森林は、何帯にある。
選択肢	1	乾燥帯
選択肢	2	明石の鯛
選択肢	3	冷帯
選択肢	4	寒帯
正解		
解説		

塾人社 四択問題【地理 世界と日本の気候 3】

設問 1	温暖湿潤気候(おんだんしつじゅんきこう)の特色としておかしいのはどれ。	
選択肢	1	季節風(モンスーン)が発達する
選択肢	2	夏は熱帯のようになる
選択肢	3	冬は寒さが厳しい
選択肢	4	降水量が少ない
正解		4
解説	温暖湿潤気候は、四季の変化がもっとも明確だ。大陸の東岸に分布し、日本も含まれる。夏は高温で雨が多く、冬は低温で乾燥する。米作が盛んな地域になっているよ。	

設問 2	夏と冬の温度差が大きい大陸性気候で、南半球にはない気候と言えば。	
選択肢	1	西岸海洋性気候
選択肢	2	寒帯
選択肢	3	高山帯
選択肢	4	冷帯
正解		4
解説	夏は短いですが雨も降り気温も高くなる。また冬はかなり低温になるのが特徴。北緯40から60度付近に分布する。ロシアのモスクワなど。	

設問 3	熱帯に存在する常緑広葉樹の密林を何と言う。	
選択肢	1	熱帯雨林
選択肢	2	サバナ
選択肢	3	タイガ
選択肢	4	シゲシゲ
正解		1
解説	熱帯に存在する植物帯は、常緑広葉樹(じょうりよくこうようじゅ)の密林である熱帯雨林と、長い草とまばらな樹木の草原であるサバナ(サバンナ)だよ。整理しておいてね。	

設問 4		長い草とまばらな樹木の草原であるサバナは、何帯にあるか。
選択肢	1	わからんたい
選択肢	2	熱帯
選択肢	3	冷帯
選択肢	4	寒帯
正解		2
解説		解説は設問1を見てね。植物帯は、乾燥帯にもあるんだよ。ステップと言う。

設問 5		タイガと呼ばれる針葉樹(しんようじゅ)の大森林は、何帯にある。
選択肢	1	乾燥帯
選択肢	2	明石の鯛
選択肢	3	冷帯
選択肢	4	寒帯
正解		3
解説		シベリアとカナダに広がる針葉樹(しんようじゅ)の大森林をタイガと言うんだ。ロシアは針葉樹の輸出大国で、日本は世界有数の輸入国なんだよ。